

主要な個別事業の取組状況

分野1 子 ども	：学校規模の適正化の検討事業	…	1 p
分野2 福 祉	：塩竈市立病院外来棟リニューアル事業	…	7 p
分野3 生 活	：緑と憩い再生事業	…	18 p
分野5 交 流	：ふるさと納税事業	…	24 p
分野8 浦戸諸島	：浦戸再生プロジェクト推進事業	…	33 p



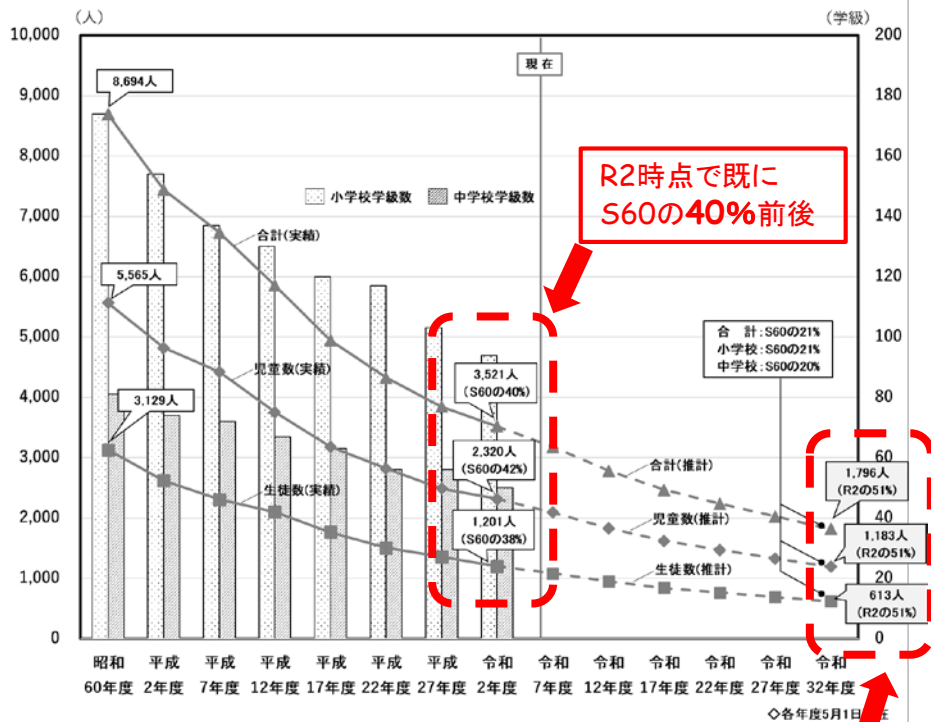
分野1：子ども
子どもたちの笑い声があふれるまち

学校規模の適正化の検討事業

本市の現状

本市の児童生徒数においては、減少の一途をたどることが見込まれている。
一方で、市内学校は昭和40年～昭和50年代に建築されたものが多く、施設の老朽化も進んでいる。

塩竈市における児童生徒数(市全体)及び学級数の推移と推計



各学校の建築年等【令和6年12月末現在】

No	学校名	主たる校舎の建築年	経過年数	改修年度
1	第一小学校	1967年 (昭和42年)	57年	令和2～3年度
2	第二小学校	1982年 (昭和57年)	42年	
3	第三小学校	1965年 (昭和40年)	59年	平成25～26年度
4	月見ヶ丘小学校	1966年 (昭和41年)	58年	平成28～29年度
5	杉の入小学校	1978年 (昭和53年)	46年	
6	玉川小学校	1960年 (昭和35年)	64年	平成19年度
7	第一中学校	1979年 (昭和54年)	45年	
8	第二中学校	1974年 (昭和49年)	50年	令和4～8年度(予定)
9	第三中学校	1969年 (昭和44年)	55年	平成30～令和元年度
10	玉川中学校	1978年 (昭和53年)	46年	
11	浦戸小中学校	1988年 (昭和63年)	36年	

なぜ学校規模適正化を検討する必要があるのか

(1) 塩竈の子供たちがのびのびと元気に育つ教育環境を確保するため

ともに **学び** 時をつなぎ 子供が **輝く**

本市では、「塩竈の子供たちにとって何が幸せか」を念頭に置いており、その理念のもと、上記指針を掲げている。

この指針の基に、他者を思いやる心を持ち、**ふるさと塩竈が大好きな子供たちを育てていきたい**と考えている。

(2) 学校施設の安全性を確保するため

老朽化対策が喫緊の課題であることから、長寿命化改修を実施しながら、市内小中学校11校を維持している。

しかしながら、1件あたりの改修には数億～数十億円規模の費用を要することから、今後全11校を維持していくには膨大なコストが想定される。

・・・以上の理由から

学校規模の適正化を検討することは必要と考える。

これまでの取組概要

児童生徒数の減少や教育の質の向上、学習環境の整備等進めるため、学校規模の適正化に関する基本的な考え方や望ましい学校の配置、通学区域等に関する検討を行った。

●令和5年度以前

年度	検討内容等
令和3年度	教育部職員による「学校再編検討会議」を開催し、文部科学省が策定した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」をもとに児童生徒数及び学級数の将来推計、学校施設の現状把握、学校の適正規模に関する定義確認
令和4年度	有識者やPTA会長、校長会会長等で構成する「学校の在り方検討会」を3回、PTA役員らとの「意見交換会」を各校2回開催
令和5年度	先行事例視察、基本的な考え方及び具体案の内部検討、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の新たな推計値に基づく児童生徒数及び学級数の将来推計、通学距離机上計算

●令和6年度

・塩竈市立学校規模適正化等検討委員会の設置

学校規模の適正化や配置などを調査検討するための附属機関として、令和6年7月1日から令和7年6月30日までの1年間の任期で設置。今後の議論のための「たたき台」としての「**学校規模の適正化等に関する方針(案)**」について諮問し、令和7年1月に答申を受けた。

・児童生徒へのヒアリングの実施

概要：本市教育環境の現状を説明し「自分の学校の良いところは何か、また、今後どのような学校があればよいと思うか」についてヒアリングを実施

期間：令和6年10月から令和6年11月まで

対象：市内小中学校に在籍する小学6年生と中学3年生（浦戸小中学校を除く）

・パブリックコメントの実施

公表場所：本市公式ホームページや公共施設にて公表

提出方法：直接持参や郵送、メール等

意見件数：112件（31名）

方針(案)の概要

(1) 学校規模を適正化する方法について

学校規模を適正化するための方法としては「学校の統合」と「通学区域(学区)の変更」、「通学区域(学区)の自由化」の3つの選択肢が考えられる。

市内の全ての児童生徒が等しく質の高い教育を受けられる環境を保障するためには、適正な学校規模を確保していく必要がある。

⇒学校規模を適正化するための方法としては「学校の統合」が効果的である

(2) 望ましい学校規模等について

① 望ましい学級数の基準

⇒法令で定める「12学級以上18学級以下」を基準

② 望ましい1学級あたりの児童生徒数の基準

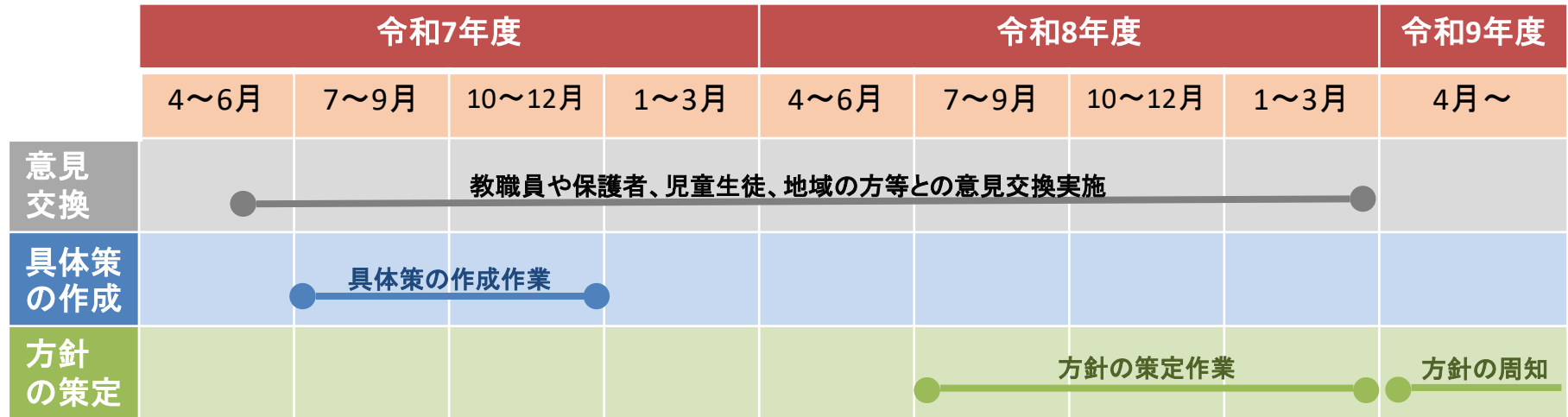
⇒法令で定める「1学級あたり小学校35人、中学校40人」を基準

③ 望ましい通学距離の基準

⇒法令で定める「小学校:4キロメートル以内、中学校:6キロメートル以内」を基準

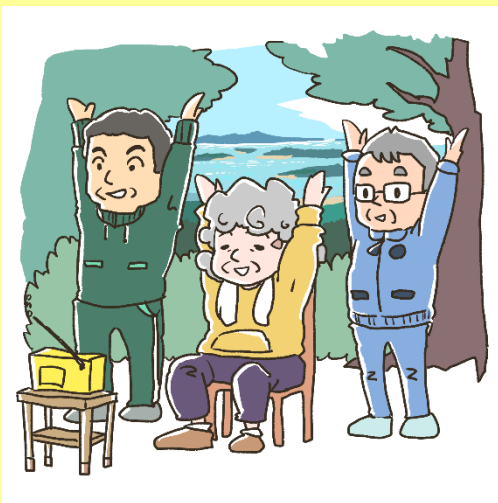
今後のスケジュール

(1) 全体スケジュール



(2) 令和7年度の進捗

	意見交換会 実施数	内訳
教職員	6校	一小、二小、月見小、杉小、一中、三中
学校運営協議会	2校	杉小、二中
各委員会等	6か所	社会教育委員の会、市民交流センター審議会、生涯学習センター審議会、文化財保護審議会、子ども・子育て会議、青少年相談センター運営協議会



分野２：福祉

みんなが生き生きしているまち

塩竈市立病院外来棟 リニューアル事業

まちづくりの目標と方向性に基づく施策

施策の柱

第3節 安心できる地域医療体制の充実

施策名

3 市立病院を中心とした地域医療体制の充実

- ③ 市立病院における安全で良質な医療の提供の継続に向けて、施設設備の検討を進めるとともに、不足が見込まれる医療スタッフの確保に努めます。

取組の背景

市立病院の施設は古いもので60年以上経過しており老朽化が著しく、建て替えの時期が来ている。

一方、物価高騰等による建設費用の上昇が未だ収束しないため、建て替えは非常に困難であるが、安全・安心な医療提供に向けた環境整備が求められている。



1. 1階総合受付、待合室フロア

◇総合受付待合室

【改修前】



【改修後】



◇ 総合受付待合室前



◇ 1 階診察室前



◇ 患者相談窓口ブース（新設）



◇発熱患者用ソファベッド（新設）

発熱患者用待合室



『ソファ状態』



『ベッド状態』



2. 2階来院者用休憩室

【改修前】



【改修後】



3. 2階小児科診療室前

【改修前】



【改修後】



◇授乳室（新設）



4. 2階小児科プレイルーム

【改修前】



【改修後】



5. デジタルサイネージ（新設）





分野３：生活
快適に住み続けられるまち

緑と憩い再生事業

伊保石公園再整備事業

令和5年度に策定した、伊保石公園再整備基本計画を基に、市民アンケートの結果最も需要の高かったアスレチック施設を実現に向け、事業者を公募し、選定委員会を経て決定した。

伊保石公園再整備に伴う民間事業者選定委員会

回	日程	内容
第1回	令和6年9月20日(金)	<ul style="list-style-type: none">・伊保石公園の現状と課題について説明・これまでの経過を説明 (伊保石公園再整備基本構想、伊保石公園再整備基本計画策定等)・今回の公募提案内容についての説明
第2回	令和6年11月15日(金)	<ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーション審査・最優秀提案者の決定(株式会社ワクワークス)

令和7年2月20日(木)に株式会社ワクワークスと「自然共生型アウトドアパーク フォレストアドベンチャー」の設置に関する基本協定を締結した。



(協定式の様子)



(第2回選定委員会での事業者プレゼンテーションの様子)

1.伊保石公園の沿革

「市民の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等の総合的な利用に供する」ことを目的とした総合公園として、**昭和61年2月28日(県告222号)に都市計画決定**。同年3月7日に都市計画事業認可を受け、**平成17年までに南側の第Ⅰ期工区の整備**を行った。北側の第Ⅱ期工区については現在も未整備区域となっている。



2.伊保石公園再整備の基本構想・基本計画の策定

令和3年、塩竈市市政施行80周年を機に、開園から30年以上が経過した伊保石公園再整備に着手。**令和3年度に伊保石公園再整備基本構想を、令和5年度に伊保石公園再整備基本計画を策定**。

(1)伊保石公園再整備基本構想

公園の利用状況や利用者ニーズの把握のためアンケート調査を実施し、ニーズが高い、**アスレチック施設、バーベキュー施設等**のアクティビティ施設を配置した基本構想を策定。

(2)伊保石公園再整備基本計画

基本構想を元に民活力導入の可能性をサウンディング調査により実施。その結果を踏まえながら整備概要等をまとめた**再整備基本計画**を策定。

3.民間事業者による事業提案

(1)事業提案の概要

令和6年度、これまで策定してきた再整備基本計画を元に、市民ニーズの多かったアクティビティ施設について、**設置管理制度により公募**。事業者選定委員会により、**(株)ワクワックスによる「自然共生型アクティビティ施設」**を選定。

(2)事業提案の経過

令和6年 9月30日(月)
令和6年11月 8日(木)
令和6年11月15日(月)

令和7年 2月20日(木)

募集要項等の公表(公募)
第1次審査(書類)
第2次審査(プレゼンテーション)
最優秀事業者の決定・・・(株)ワクワックス
伊保石公園再整備に伴う**設置管理許可事業基本協定書の締結**

4. アクティビティ施設の概要

施設概要(自然共生型アウトドアパーク フォレストアドベンチャー)

- ・自然の立木を利用し、地上15m付近に設置された足場から**空中散歩**を楽しみ、ジップラインで地上へ滑り降りる。
- ・スリルと爽快感、達成感を味わえる、子どもから大人までの幅広い世代に楽しんでいただける**新次元スポーツ**



※令和7年8月1日(金) グランドオープン

5. 今後の整備予定等について

(1)伊保石公園内の遊具の更新

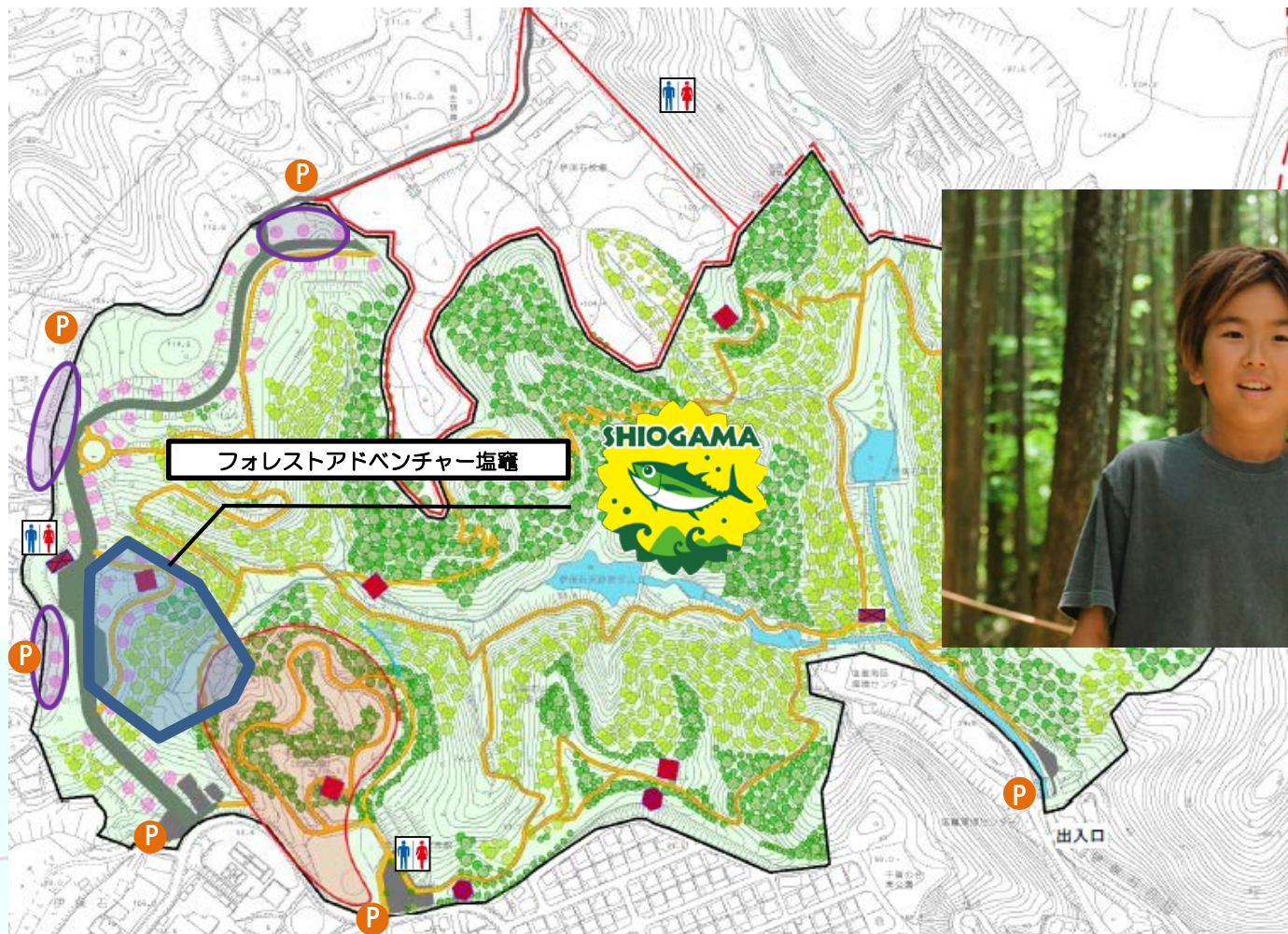
伊保石公園内に点在する遊具を「**幼児・子供の遊具遊び場ゾーン**」として、**公園西側に集約し、遊具の整備・更新予定**

(2)バーベキュー施設の検討

2番目に市民ニーズの多かった**バーベキュー施設**について、**次期の整備施設として検討**



施設配置図



施設紹介動画



※パシフィックネットワーク・・・<https://www.pacific-n.com/>
 フォレストアドベンチャー・・・<https://foret-aventure.jp/>
 フォレストアドベンチャー塩竈・・・<https://foret-aventure.jp/park/fa-shiogama/>

東北初全国で46箇所目



フォレストアドベンチャー3つの特徴

森の地形をそのまま活用



子どもは大人に、
大人は子どもになれる場所



より高い安全の実現



コースの紹介など

特色のある5つのコースを用意

最大高低差15m、ジップライン長70m

既存の地形や樹木にワイヤーを張り、綱渡り
やジップラインを楽しめるアクティビティ施設

(1)利用条件

身長120cm以上 体重100kgまで

小学生は18歳以上の保護者と一緒に参加。中学
生、17歳以下の高校生が利用する場合は、大人
は地上からの見守りでも参加可能)

(2)利用料金

大人・小人一律料金 ¥3,200/名

所要時間:100分(プレイ時間70分+講習・練習
時間)

(3)その他

・事業者は5年後、2万人の集客を見込む。

・5年後の本市の収益

使用料(土地・建物)・・・823,100円/年

利益還元分(2%)・・・389,200円/年



街区公園植樹事業

子どもたち自ら各小学校の学区内にある公園に植樹を行うことで、郷土愛の醸成を図り、魅力ある都市公園の運営を行っていくことを目的として、令和3年度より毎年1校ずつ実施校を増やして開催している。

日程	小学校	場所	内容
令和6年6月7日(金)	第三小学校(67名)	中の島中央公園	・ソメイヨシノ植樹 1本 ・ツツジ植樹 100本
令和6年11月12日(火)	第一小学校(41名)	東玉川公園	・ソメイヨシノ植樹 1本 ・サツマイモ収穫体験
令和6年11月18日(月)	月見ヶ丘小学校(77名)	清水沢公園	・ドイツトウヒ植樹 1本 ・サツマイモ収穫体験
令和6年11月21日(木)	杉の入小学校(78名)	楓町北公園	・ドイツトウヒ植樹 1本 ・サツマイモ収穫体験



(ソメイヨシノ植樹の様子)



(自由時間の様子)



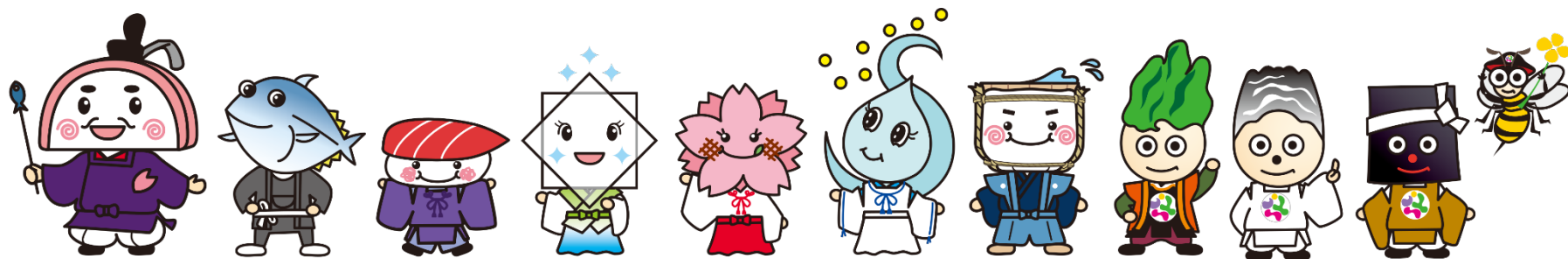
分野5：交流
何度でも訪れたいまち

ふるさと納税事業



ふるさと納税の増収に向けた 取組について

塩竈市





1. 本市の状況
2. 返礼品
3. 令和7年度の取組
4. 令和7年度の目標

1. 本市の状況



(1) 令和6年度の実績

- 令和6年度は昨年度と比較すると、**寄附件数は2.8倍、寄附金額は2.1倍**となっています。
- 返礼品代は市内事業者へ支払われ、**地域経済の活性化**につながっています。

		単位	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
寄附	件数	件	6,097	18,410	22,211	32,189	88,929
	金額①	百万円	153	325	393	511	1,067
コスト	返礼品代	百万円	43	78	127	141	263
	その他経費	百万円	28	35	84	114	270
実収入額 ①-②		百万円	82	212	182	256	533

R2～R5は総務省の「ふるさと納税に関する現況調査」の公表数値

R6は同調査の報告数値

※単位未満四捨五入

1. 本市の状況

(2) 他市町村との比較（令和6年度）

本市は10.7億円で
県内 5 位（昨年13位）

〈参考〉県内上位5自治体

順位	市町村名	寄附金額 (億円)
1	気仙沼市	121.7
2	角田市	49.2
3	大河原町	31.3
4	石巻市	20.3
5	塩竈市	10.7

2. 返礼品



(1) 返礼品寄附金額ランキング（令和6年度）

順位	返礼品名	寄附金単価 (円)	寄附金額 (万円)
1	うす塩アトラン切落骨取 2.1 k g	10,000	6,028
2	銀鮭切り落とし 1.8kg	12,000	4,367
3	特大 ボイル タラバ蟹 2kg	50,000	4,365
4	特大 ボイル 本ズワイガニ 3 kg	30,000	4,146
5	うす塩アトラン切落骨取 1kg	6,000	3,466
6	うす塩銀鮭切落とし（骨取り） 2.1kg	12,000	2,141
7	訳あり緊急支援品マールサーモン 3kg アトランティック サーモン	10,000	2,056
8	特大 ボイル タラバ蟹 3kg	74,000	1,917
9	うす塩アトラン切落骨取 3kg	15,000	1,911
10	【天然】特大紅鮭切り落とし 2.2kg	12,000	1,892



3. 令和7年度の取組



(1) 返礼品数を更に充実させます！

- 上位自治体は1,000品以上返礼品を取り揃えています。
まずは現在520品から200品増やしていきます！
- 鮭・力二の割合が非常に高いため、次の柱となる返礼品
開発に事業者・団体と連携して取り組みます！

(2) 効果的なプロモーションを行います！

- 各種広告の費用対効果を分析し、検索連動型広告（RPP等）
を中心に効果的な広告を実施していきます！
- 各種イベントなどで積極的にふるさと納税のPRを行い、塩
竈ファンを増やしていきます！

3. 令和7年度の取組



(3) 現地決済型ふるさと納税を導入します！

- 市内での飲食やサービスの支払にふるさと納税を使える仕組みを導入します！
- これまで参画出来なかった飲食店等の事業者とも連携が可能となります！
- 現地を訪れてもらうことで、新たな塩竈ファンの獲得につなげます！



- 支払う“その場で” ふるさと納税
ふるさと応援納税®は、支払う“その場”で申込できる現地型ふるさと納税。宿泊施設や飲食店、レジャー等の観光現場で高額な寄附を発生させます。
- 返礼品は、すぐに使える電子クーポン
スマートフォンで手続き後、即時に電子クーポンを発行(寄附額の30%)。寄附額は、返礼品の金額に合わせて利用者が自由に決められます。
- 既存のふるさと納税と競合なし
既存事業は変更なく、現地型の新たな寄附導線を追加できます。地域の事業者は、業種の隔たりなく参画可能(地場産品基準の適合業種に限る)。

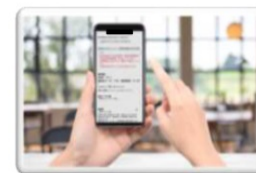
<サービス利用イメージ>

1. QRコードから申込ページへ



専用のふるさと応援納税サイトをご用意。ダイレクトに御庁への寄附申込へアクセスします。

2. かんたん操作で寄附申込



初回はユーザー登録から手続き完了までおよそ5分。主要クレジットカードすべてに対応しています。

3. すぐに使える電子クーポン



利用者のスマートフォンへ“その場で”電子クーポンを贈呈。支払いにすぐに使えます。

4. 令和7年度の目標



①

返礼品
充実

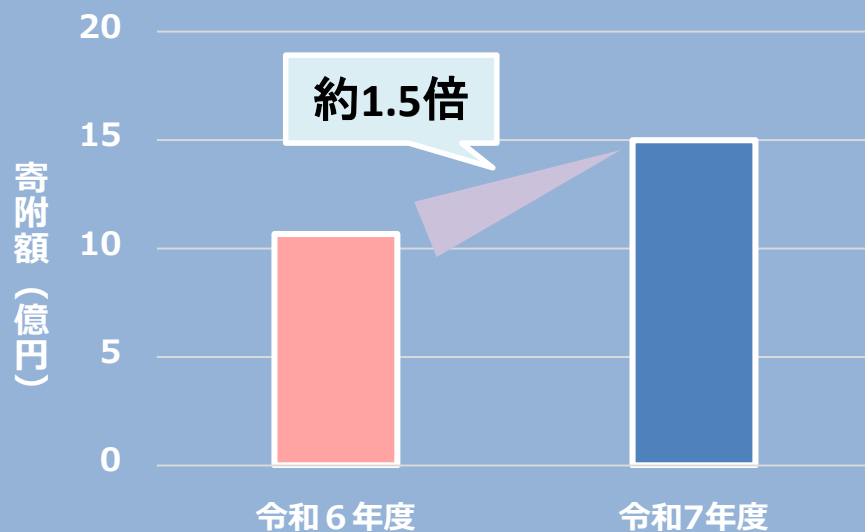
②

効果的な
プロモーション

③

現地決済型
ふるさと納税の
導入

寄附金額 15億円 を目指します！



重点課題への対応や
第6次長期総合計画
の実現に向けた取組
などの財源として活
用します。



分野8：浦戸諸島

自然と調和した和やかな暮らしと
癒しがあるしま

浦戸再生プロジェクト 推進事業

目標：浦戸への交流人口の拡大

【目標】

コロナ禍の影響で減となった観光客数を戻す取組みを実施する。

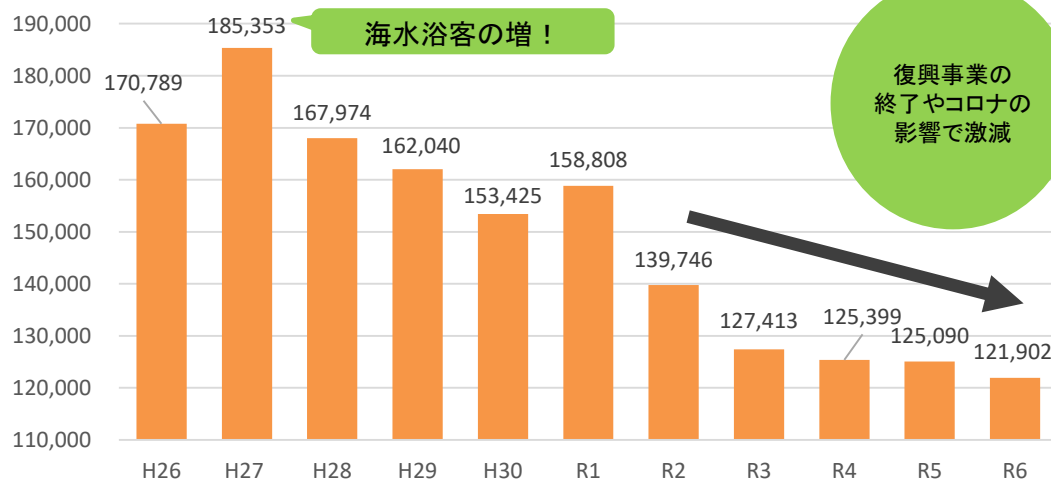
- ① 浦戸への交流人口の拡大・関係人口の創出
- ② HP、SNS等を活用した情報発信の強化

乗船者数の分析

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
観光	47,737	34,627	33,708	31,776	36,002	35,958
島民	53,921	45,769	46,055	44,857	44,212	42,246
定期	57,150	59,350	47,650	48,766	44,876	43,698
計	158,808	139,746	127,413	125,399	125,090	121,902

交流人口の拡大を掲げ、令和6年度は様々な取組を実施したが、観光利用の乗船者数は前年度ほぼ横ばいの35,958人となった。

【参考・市営汽船乗船者数の推移】



取組① 地域おこし協力隊活用事業について

島づくりの新たな担い手を確保することを目的に、島に住み、島の一員として、島の魅力発信、地域資源を活かした加工品開発など様々な事業に取り組む地域おこし協力隊を2名任用しています。

概要

- ・島の情報発信
- ・島の資源を活用した加工品・特産品などの商品開発
- ・地域コミュニティの活動支援
- ・その他地域の課題解決や活性化につながる活動



▲月1回発行している活動レポート「うらっこ日記」

◀ SNS (Instagram) を活用した浦戸の情報発信



▲地域おこし協力隊企画で開催された「浦戸諸島朴島 菜の花まつり」
【参加者 R6：217人、R7：281人】



R7.5月よりブルーセンターにて毎週木曜日「島カフェ」を開設している。島民や観光客の交流の場となっている。

取組② 交流人口拡大に向けた取組について

①市営汽船サンセットクルーズ 7/26・8/2

初めての試みとなったサンセットクルーズ。市営汽船の通常の定期便（18:15発）を活用し、非日常的空間を演出！素敵なサンセットを眺めることができました。

【参加者 7/26:97人、8/2：118人】



②おやこトレジャーウォーク

浦戸諸島の自然や歴史、文化を親子で楽しむウォーキングイベント。歩数8,000歩を目標に様々なミッションを達成しながら島あるきを楽しみました。【6/1に開催 64 人の参加】



ロープワーク講座

③校外学習支援事業

市内の子どもたちが浦戸に行く「きっかけ」作りとして、市内の小中学校等の校外学習や遠足先として、浦戸を訪れる機会を提供しました。



No	実施日	学校名等	参加者数	活動内容
1	4月26日	玉川保育園	18人	野々島散策
2	6月6日	やまつみ保育園	15人	野々島散策
3	6月12日	やまつみ保育園	13人	野々島散策
4	6月28日	やまつみ保育園	18人	野々島散策
5	6月28日	わだつみ保育園	11人	野々島散策
6	7月12日	聖光幼稚園	36人	野々島散策、タッチプール
7	7月12日	カトリック幼稚園	36人	野々島散策
8	7月23日	やまつみ保育園	16人	野々島散策
9	7月24日	やまつみ保育園	19人	野々島散策
10	8月6日	やまつみ保育園	23人	野々島散策
11	8月6日	ひまわり保育園	21人	桂島散策
12	9月6日	玉川小学校	55人	桂島散策、のり加工場見学、タッチプール
13	9月27日	第二小学校	63人	野々島散策、ホタテ貝の絵付け、タッチプール
14	10月8日	月見ヶ丘小学校	75人	桂島散策、のり加工場見学、タッチプール
15	10月9日	第三小学校	58人	寒風沢散策、ホタテ貝の絵付け、タッチプール
16	11月28日	玉川中学校	47人	浦戸諸島散策、島民による講話
合計			524人	

取組② 交流人口拡大に向けた取組について

④浦戸島さんぽ 秋の限定酒を満喫！

塩釜小売酒販組合と寒風沢の民宿とのコラボで地酒と島料理を楽しむ「浦戸島さんぽ」。総勢30人で、ゆったりとした浦戸の魅力である島じかんを楽しみました。【10/26に開催 30人の参加】



⑤牡蠣むき焼き牡蠣体験イベント

浦戸の特産である牡蠣をきっかけに、牡蠣むき体験や島民とのふれあいを通じて、浦戸諸島の歴史や自然の魅力を感じてもらう取組を行いました。【2/24に開催 27人の参加】



島民の皆さんが中心となった取組の紹介

野々島盆踊り花火大会 8/14

お客さんと呼ぶのは今年で最後となった野々島花火大会。真上に上がる花火は圧巻！。当日は700人以上の方々が野々島を訪れました。



浦戸ファミリーマラソン 8/18

昨年に引き続き開催のマラソン大会。110人のエントリーがあり、母ちゃん会をはじめ、ボランティアスタッフ、応援のご家族など、総勢200人規模のイベントになりました。



スタートの様子



離島ならではの！島の皆さんのお見送り

取組③ 桂島防災集団移転跡地について

桂島の防災集団移転跡地において、島民やボランティアの協力を得ながら芝生化を進めています。芝生の定植に携わることで、島への愛着を深めてもらえるよう工夫するとともに、その後の活用策についても検討していきます。

概要

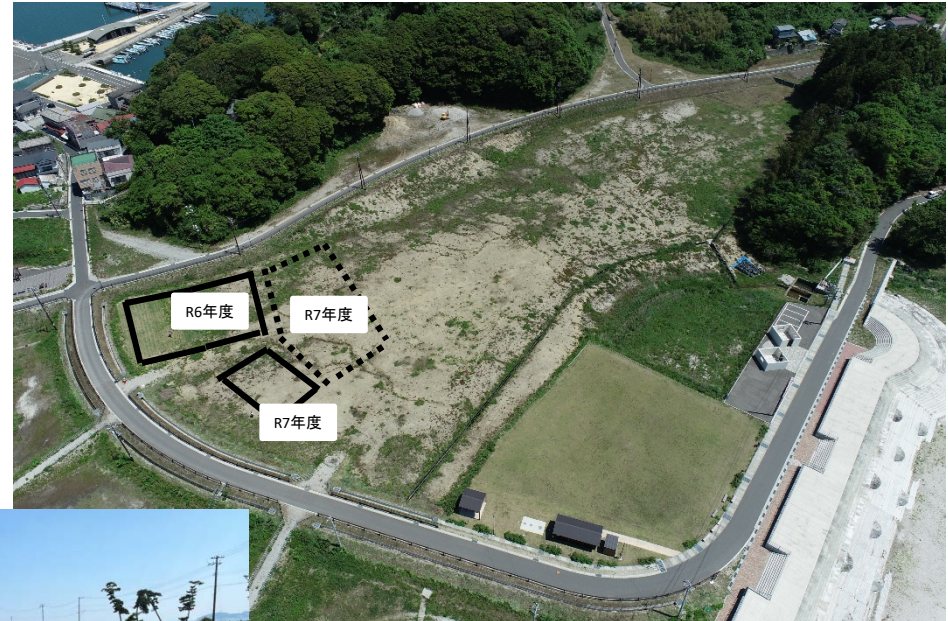
- 専門家の指導のもと、ワークショップ形式での定植
- 芝の種類はティフトン芝
- 芝生の管理についても専門家の指導を受ける
- 令和7年度は利活用を想定したイベント開催予定

参加型ワークショップ形式により
広大な土地を芝生化へ。
島への愛着を醸成!



参加型ワークショップとしての芝張り体験をこれまでに計4回開催し、延べ95人が参加しました。

【位置図】



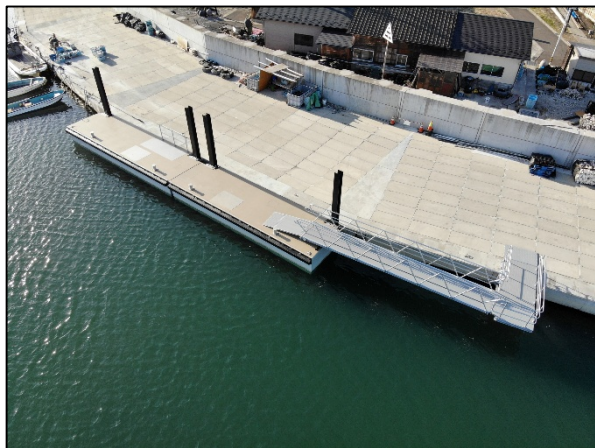
現在の状況 (R7.7.9)



活用イベントとしてR7.10月には「キャンプ・テントで泊まろう」を開催予定

取組④ 島民の生活を支える取組について

朴島の浮棧橋が完成！



島民の皆さんの長年の要望であった朴島浮棧橋が完成し、R7.4月から供用開始されました。この新たな施設は、島民の暮らしをより快適にするだけでなく、観光や地域交流を促進する役割を果たすことが期待されます。



浮棧橋設置前の干潮時の状況。乗り降りに大変なご不便をおかけしておりました

【事業費】

設計業務：20,269千円

設置工事：55,431千円

合計：75,700千円

※うち8割が交付税措置されるため

実質的な市負担額は15,140千円

買い物支援事業

ファミリーマートの「置き売り」販売システム を活用した常設販売がスタート

- 桂島ステイ・ステーション 10月25日(金)～
- ブルーセンター 10月29日(火)～
 - ・ 取り扱いが現金のみ(料金箱対応)
 - ・ 商品の搬入、棚卸はファミリーマート側で対応
 - ・ 10月～3月の売上・人数 桂島：290,960円、344人
野々島：87,200円、158人

国の離島活性化交付金の補助対象である3年間で効果を検証し、事業継続の判断を行う。

